

登録コード	TSL14600	開講年度	2026				
授業科目	計算構造力学演習				担当教員	小山 茂	
英文授業名	Seminar in Computational Structural Mechanics				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	計算構造力学を履修していること	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				・講義に関する資料を要約し口頭発表を行うことにより, 計算構造力学に関する分野の高度な専門知識が身につくようになる		
(2)授業の概要	研究課題または講義（計算構造力学）に関係する分野に関し, 教員と学生が協議して複数のセミナー資料（関連分野の専門書、学術論文等）を選定し, 学生自らの自学・自習の成果をセミナーで発表し討論する．各回のセミナーの要点をレポートしてまとめるとともに、最終回到セミナーのまとめとして「セミナー発表会」を実施する．						
(3)授業計画	第1回（前期10時間分） 計算構造力学に関する資料の選定（教員との協議を含む）						
	第2回（前期20時間分） 資料の調査, レポート作成 第3回（前期20時間分） 資料に基づく計算の実施 第4回（前期10時間分） プレゼンテーション, 討論 第5回（後期10時間分） 研究課題に関する資料の選定（教員との協議を含む） 第6回（後期10時間分） 資料調査 第7回（後期20時間分） 研究課題に関する計算の実施 第8回（後期20時間分） 理論および結果に関する概要作成 第9回（後期10時間分） プレゼンテーション, 討議						
(4)成績評価の方法	前期レポート25点, 前期プレゼンテーションおよび討論25点, 後期概要25点, 後期プレゼンテーションおよび討論25点の総合点により評価を行う．90点以上を秀, 80点以上90点未満を優, 70点以上80点未満を良, 60点以上70点未満を可とする．						
(5)成績評価の基準	90点以上：「水準からみて卓越している」とみなし, 秀 80点～89点：「水準よりかなり上にある」とみなし, 優 70点～79点：「水準よりやや上にある」とみなし, 良 60点～69点：「水準にある」とみなし, 可, 50～59点：「水準よりやや下にある」とみなし, 不可（D） 49点以下：「水準にない」とみなし, 不可(F)						
(6)事前事後学習の内容	事前準備について ・選定した資料を十分に理解し, 分かりやすいプレゼンテーションできるよう準備すること 事後の作業について ・討議において明らかとなった問題点を整理し, それに対する解答をレポートとしてまとめること						
(7)履修上の注意	計算構造力学を履修していない場合は受講を認めない．						
(8)質問,相談への対応	随時						
(9)その他							
【教科書】	第1回目に, 教員と学生が協議して選定する．						
【参考書】	第1回目に, 教員と学生が協議して選定する．						